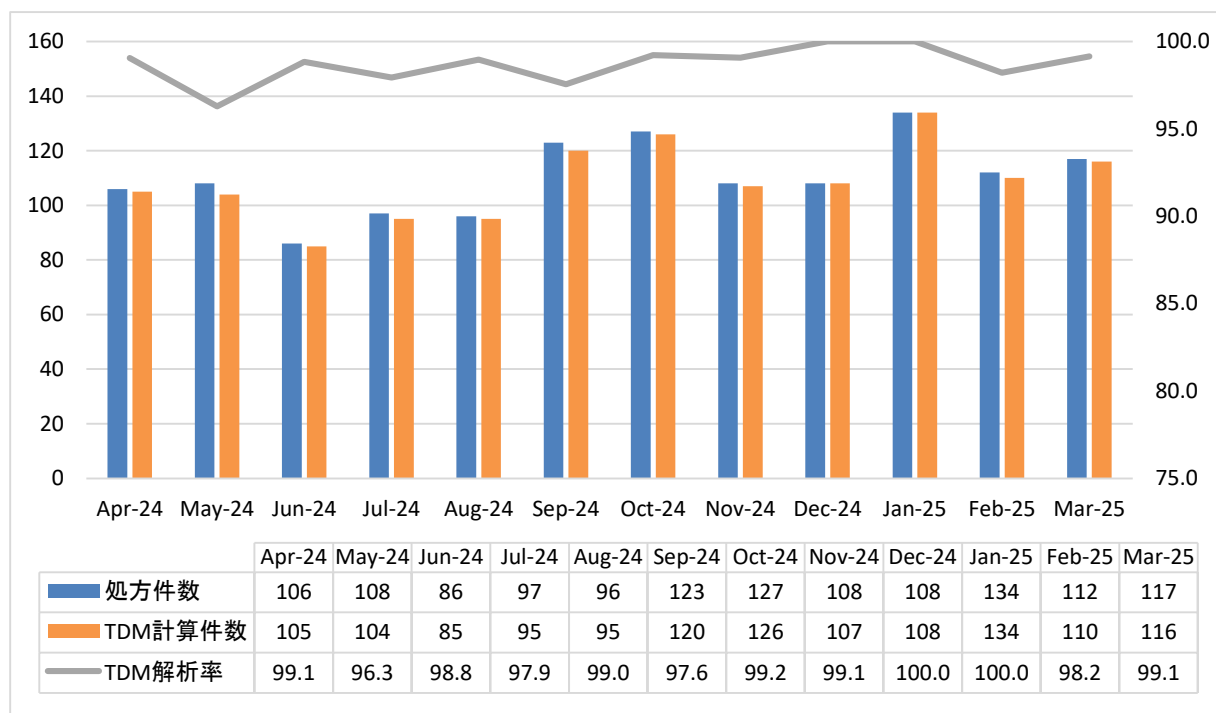


抗 MRSA 薬 TDM 実施率



当院で採用されている抗 MRSA 薬はバンコマイシン（VCM）、テイコプラニン（TEIC）、ダプトマイシン、リネゾリドの 4 剤で、アミノグリコシド系のアルベカシンは採用していない。

このため、TDM の対象となる抗 MRSA 薬は VCM と TEIC の 2 剤となる。

2024 年 4 月から 2025 年 3 月にかけて行われた、VCM と TEIC の TDM 解析率をグラフに示した。

方法として、

月毎に VCM または TEIC を投与された患者を電子カルテから抽出し、このうち、投与日数が 5 未満の患者を除外して分母とした。分子には TDM が実施され、処方設計を行った患者数を用いて TDM の実施率を計算した。

月当たりの使用患者数は平均で 110.2 人（86-134 人）、

TDM 解析を実施した患者数は平均で 108.8 人（85-134 人）、

TDM 実施率は全体の平均で 98.7% であり、2023 年度と比較して 0.1%上昇した。

2024 年 1 月までは主に AST 担当薬剤師が TDM を行っていたが、2024 年 2 月からは TDM 実施者が各病棟担当薬剤師に基本的に移行している。移行後も実施率の大きな低下はみられない。

一方で、まれに TDM 採血・計算が行われない症例もみられるため、次年度以降も引き続き TDM 解析率 100%を目標として対象患者を確実に把握できるように AST と薬剤部で連携して取り組む必要がある。

データ提供：医療の質・安全対策部 感染対策室